

## オーストラリア体験キット

英語教師・自治体職員向け 内容一覧と説明（日本語）

2023年8月

ダウンロードできるコンテンツ

URL: <https://tell-me-about-australia.jp/recommend/eakit/>

ウェブサイト“もっと知りたいオーストラリア” <a href="https://tell-me-about-australia.jp/">https://tell-me-about-australia.jp/</a>	こちらのウェブサイトは、小学生高学年から中学生を主な対象としており、オーストラリア大使館広報文化部が企画・制作しました。コンテンツを授業で使用いただけます。小学生低学年にも読めるように、ふりがなの切り替えボタンがあります。
授業計画書	授業を行うためのレッスンプランを用意しました。英語、オーストラリア文化を日本の学生に教えた経験がある大使館職員、インターンが制作しました。
オーストラリアの写真と説明	「学校」「固有動物」「気候」「生活」「世界遺産」を取りあげています。解説は日本語と英語の両方で書かれています。
動画	「オーストラリアの固有植物」「オーストラリアのコーヒー文化」「オーストラリアの職場環境」など様々なテーマの動画があります。
ワークシート（日本語・英語）	40ページほどのワークシートを用意しています。オーストラリア料理のレシピもこちらにあります。

オーストラリア体験キット

オーストラリア大使館 広報文化部

Things to keep in mind when teaching about Australia’s First Nations people and cultures:

Some tools for teaching about Aboriginal and Torres Straits Islander histories and cultures are included in the Kit. Australian students are required to develop an understanding of this topic under the Australian curriculum and it would be a wonderful opportunity to give Japanese students studying about Australia to engage with its First Nations.

Japanese people are relatively unfamiliar with Australian First Nations, their histories and cultures. When discussing Australian First Nations in class, start by giving your students some basic information.

Japanese people often use the term アボリジニ when speaking about Australia’s First Nations, which does not have any pejorative overtone. While the term Aborigine is much less commonly used in English today, Japanese people continue to use this term. Start by telling your students that the term ‘First Nation(s)’ is now considered a better way to refer to Australia’s indigenous communities. The closest term in Japanese is 先住民(せんじゅうみん).

The ‘Ainu’ are Japan’s First Nations people. They first settled in Hokkaido around 30,000 years ago and now mainly live in Hokkaido and the Tohoku region. Some Japanese textbooks for Year 6 and above feature their history and culture. More details about Ainu can be found here: [Ainu Culture – Upopoy National Ainu Museum and Park \(ainu-upopoy.jp\)](https://ainu-upopoy.jp/en/ainu-culture/) <https://ainu-upopoy.jp/en/ainu-culture/>

オーストラリア先住民について教える際に

アボリジナルとトレス海峡諸島民の歴史と文化を教えるためのツールが体験セットに入っています。オーストラリアの学生はこの話題について理解を深めることが Australian Curriculum（これは日本の学習指導要領にあたります）にて義務付けられています。そして、オーストラリアについて学んでいる日本の学生にとって、オーストラリア先住民に関わりながら学ぶことは素晴らしい機会となるでしょう。

オーストラリアの先住民には大きく2つの民族があり、約6万年前からオーストラリアで暮らしてきたのがアボリジナルの人々、約1万年前からオーストラリアで暮らしてきたのがトレス海峡諸島民です。それぞれの集団内に、小さな集団が多数あり、それぞれ独自の居住地域、言語、生活習慣を持っています。ヨーロッパからの開拓者たちが先住民の土地に侵入し、差別をしましたが、政府は先住民への謝罪、先住民の権利回復、非先住民と先住民の格差の是正に努めています。

なお英語で先住民を表記する際、Indigenous people、Aboriginal people も使われてきましたが、最近では First Nation(s)が使われます。日本語でオーストラリアの先住民を指すときにアボリジニという表記をよく使いますが、英語の aborigine は差別的な意味を含むとされ、現在のオーストラリアではほとんど使われていません。

## スクールバッグに入っているコンテンツ

学校	
<p>通学バッグ</p> 	<p>メルボルンにある学校で実際に使われていたのと同じ通学バッグです。</p> <p>授業で使うファイル、教科書、お弁当箱を入れて通学します。帽子も使わないときは通学バッグにしまします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- オーストラリアの通学バッグと日本の通学バッグを比べてみましょう。</li> <li>- どんなものが入っているか生徒と一緒に開けてみましょう。</li> </ul>
<p>通学帽</p>  	<p>つば広の帽子 (Wide brim hat) または 首の日よけ付き帽子 (Cap with neck flap) のいずれかが入っています。</p> <p>オーストラリアではほとんどの学校に制服があり、紫外線が強いため、帽子も制服の一部となっています。有害な紫外線を通しにくい布でできています。学校に帽子をかぶってくるのを忘れた場合は、体育など野外での授業を受けられないという学校の規則があります。(No Hat, No Play)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- オーストラリアの通学帽の日本の通学帽を比べてみましょう。(色、形、素材)</li> <li>- オーストラリアでこのような通学帽が被られている背景には、強い紫外線があります。なぜ強い紫外線が降り注ぐのか、紫外線を大量に浴びるとどのような身体への害、病気が起こるのか、生徒に質問したり、課題を設定したりしましょう。</li> </ul>
お弁当箱	オーストラリアの生徒に一般的に使われているお弁当箱です。モーニングティー/リセス/リトルランチと呼ばれる午前中の休み時

 	<p>間に食べる軽食とお昼休みに食べる昼食を入れます。水筒も中に入ります。暑い時期には水を入れた水筒を凍らせて保冷剤代わりにします。</p> <p>お弁当の中身は、サンドイッチをはじめ、自分や家族の出身国の食べ物が多くみられます。売店（Tuck Shop、保護者がボランティアで運営）では、サンドイッチ、ミートパイ、ソーセージロール、ポテトチップスなどが売られています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 日本とオーストラリアの学校の時間割を比べてみましょう。</li> <li>- 日本のお弁当や給食とオーストラリアのモーニングティーとランチを比べてみましょう。</li> </ul> <p>関連コンテンツ： ダウンロードできるオーストラリアの画像と説明&gt;ランチボックス</p>
#英語	
<p>フラッシュカード（オーストラリア）</p> 	<p>このセットには、オーストラリアの生活、観光地、文化、動物が出てきます。ABC、単語、オージー英語を覚えるツールとして、そして、オーストラリアの基本情報を知るツールとしてご活用ください。</p> <p>使用例： &lt;場所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- カードに書かれている地名の読み方を生徒に教える</li> <li>- どの州や都市にあるか生徒に当ててもらおう</li> <li>- オーストラリアの地図で実際の場所を生徒が探す</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「もっと知りたいオーストラリア」あるいはダウンロードコンテンツに書かれている説明を読む(どちらにも説明がない場合はネットで調べる)</li> <li>- 復習のために、生徒同士でカードの説明をしあう</li> </ul> <p>&lt;動物&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- カードに書かれている単語の読み方を先生から教える</li> <li>- 「もっと知りたいオーストラリア」あるいはダウンロードコンテンツに書かれている説明を読む(どちらにも説明がない場合はネットで調べる)</li> <li>- 日本でその動物が飼育されている動物園を探す</li> </ul> <p>関連コンテンツ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- オーストラリアの地図</li> <li>- ウェブサイト「もっと知りたいオーストラリア」基本情報、観光名所・世界遺産、自然・環境、国土、文化・芸術</li> <li>- ダウンロードできるオーストラリアの画像と説明</li> <li>- ダウンロードできるワークシート</li> </ul>
<p>動物パペット</p> 	<p>オーストラリアの動物は生徒さんが英語を勉強するのをサポートするよい友だちです。すべての世代に人気のオーストラリアの固有動物。</p> <p>次の動物から4種類がセットに入っています。手を入れて動物を動かせます。</p> <p>ビルビー、コカトゥ、モモイロインコ、カンガルー、コアラ、ワライカワセミ、カモノハシ、ポッサム、ゴシキセイガイインコ、フクロモモンガ、タスマニアンデビル、ウォンバット (Bilby; Cockatoo; Galah, Kangaroo; Koala; Kookaburra; Platypus; Possum,</p>

オーストラリア体験キット

オーストラリア大使館 広報文化部



	<p>Rainbow Lorikeet, Sugar glider possum, Tasmanian Devil and Wombat)</p> <p>関連コンテンツ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 本 'Who did that?'</li> <li>- 本 'Possum Magic'</li> <li>- 本「ポッサムおばあちゃんの魔法」</li> <li>- ウェブサイト「もっと知りたいオーストラリア」自然・環境</li> <li>- ダウンロードできるオーストラリアの写真と説明</li> <li>- ダウンロードできるワークシートの3, 31, 37, 38, 41, 42, 59, 60 ページ</li> </ul>
<p>ビルビー Bilby</p>  <p>絶滅危惧種。有袋類に属し、おとなのオスで体長は 30～55 センチ、尻尾は 20～29 センチ。</p> <p><a href="https://australian.museum/learn/animals/mammals/greater-bilby/">https://australian.museum/learn/animals/mammals/greater-bilby/</a></p>	<p>キバタン Cockatoo (Kibatan)</p>  <p>ニワトリぐらいの大きさのオウムで、冠のような羽を頭に付けています。涼しい時間帯に地上に降りてきて、植物の種や根、昆虫を食べます。森林に加え、緑の多い住宅街でも見られます。「キイーッ、キイーッ」と大声で鳴きます。</p>
<p>モモイロインコ Galah</p> 	<p>カンガルー Kangaroo</p> 

ハトぐらいの大きさで、群れで生活します。日中、地上に降りてきて、土をつつくようにしながら植物やその種を食べます。森林に加え、緑の多い住宅街でも見られます。オーストラリア全土に生息します。

コアラ Koala



ワライカワセミ Kookaburra



カモノハシ Platypus



ポッサム Possum



何種類ものポッサムがありますが、コモン・ブッシュトレイル・ポッサムは、オーストラリア全土とニュージーランドに広く生息しています。

<https://australian.museum/learn/animals/mammals/common-brushtail-possum/>

ゴシキセイガイインコ Rainbow Lorikeet



フクロモンガ Sugar Glider Possum

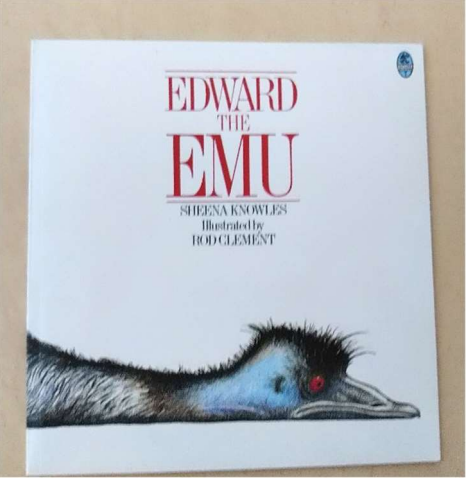
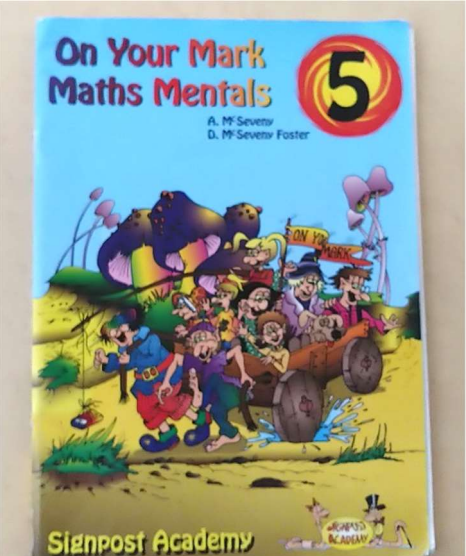


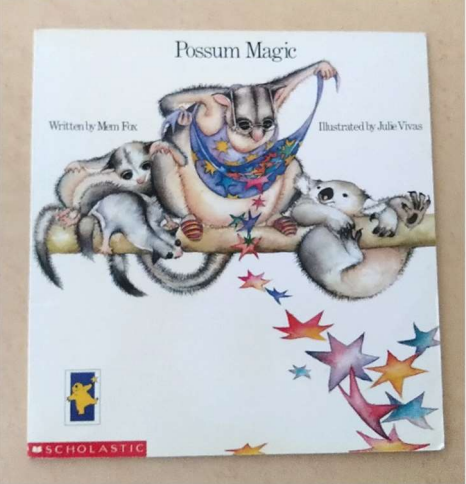
手の小指から足首まで伸びる皮膜で木々の間を 50 メートルも飛べます。

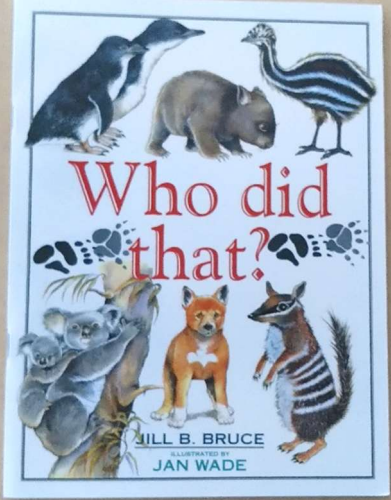
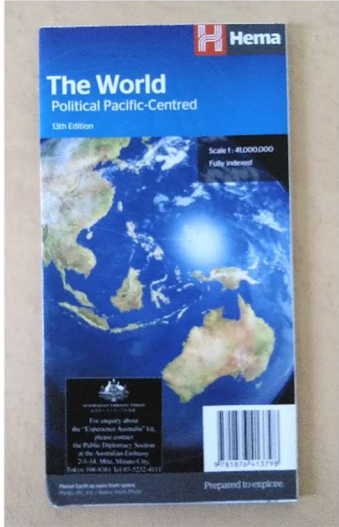

<p>森林に加え、緑の多い住宅街でも見られます。オーストラリア北部から東部にかけての沿岸部に生息します。</p> <p><a href="https://australian.museum/learn/animals/birds/rainbow-lorikeet/">https://australian.museum/learn/animals/birds/rainbow-lorikeet/</a></p>	<p><a href="https://australian.museum/learn/animals/mammals/sugar-glider/">https://australian.museum/learn/animals/mammals/sugar-glider/</a></p>
<p>タスマニアンデビル Tasmanian Devil</p> 	<p>ウォンバット Wombat</p> 
<p>CD と歌詞 'Essential Australian Songs'</p> 	<p>オーストラリアの代表的な歌が収録されています。</p> <p>オーストラリア首相と内閣のウェブサイトの次のページでは、オーストラリア国歌を聞くことができます。</p> <p><a href="https://www.pmc.gov.au/publications/australian-national-anthem-recordings">https://www.pmc.gov.au/publications/australian-national-anthem-recordings</a></p> <p>国歌の歌詞は 2021 年に一部変更されました。</p> <p><a href="https://www.pmc.gov.au/honours-and-symbols/australian-national-symbols/australian-national-anthem">https://www.pmc.gov.au/honours-and-symbols/australian-national-symbols/australian-national-anthem</a></p>
<p>#本と教科書</p>	
<p>'Australian Adventure'</p> 	<p>犬のフロッピーがオーストラリアで冒険をする物語です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 表紙裏に教師用ガイドがあります。</li> </ul> <p>生徒への質問、課題例：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- フロッピーが出会ったディンゴ</li> <li>- ディンゴのアンバーが教えてくれた Dreamtime ドリームタイム</li> <li>- 先住民が岩に描いたアートが実際のオーストラリア国内の所在地</li> </ul>



	<p>関連コンテンツ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ブーメラン</li> <li>- オーストラリアの地図</li> <li>- ダウンロードできるオーストラリアの画像と説明 &gt; ディンゴ</li> <li>- 本 'Desert Dreaming'</li> <li>- ウェブサイト「もっと知りたいオーストラリア」国土(Land), 社会 (Society), 文化と芸術 (Culture and Art)</li> </ul>
<p>'Desert Dreaming'</p> 	<p>文字を持たないアボリジナルの人々は絵や音楽をそれに代わる手段として使い、文化として発展させてきました。この本ではアボリジナルのアート、神話、生活、文化について多くの写真とともに紹介しています。</p> <p>Desert Dreaming には日本語の解説が付属しています。</p> <p>Japanese people often use the term アボリジニ when speaking about Australia's First Nations, which does not have any pejorative overtone. While the term Aborigine is much less commonly used in English today, Japanese people continue to use this term. Start by telling your students that the term 'First Nation(s)' is now considered a better way to refer to Australia's indigenous communities. The closest term in Japanese is 先住民(せんじゅうみん).</p> <p>英語で先住民を表記する際、Indigenous people、Aboriginal people も使われてきましたが、最近は First Nation(s)が使われます。日本語でオーストラリアの先住民を指すときにアボリジニという表記をよく使いますが、英語の aborigine は差別的な意味を含む</p>

	<p>とされ、現在のオーストラリアではほとんど使われていません。</p> <p>Desert Dreaming の代わりに ‘Growing up in Kakadu’ が入っているセットもあります。</p> <p>関連コンテンツ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- フラッシュカード（インディジネス・シンボル）</li> <li>- ブーメラン</li> <li>- ダウンロードできるワークシートの5ページ</li> </ul>
<p>‘Edward the Emu’</p> 	<p>主人公はエミューのエドワード。動物園での退屈な生活にうんざりして他の動物になりきって観光客の気を引こうと試みます。アシカやライオンなど次々と動物園の人気者のまねをしていきます。</p> <p>表紙のデザインが異なる場合があります。</p> <p>関連コンテンツ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ダウンロードできるオーストラリアの写真と説明&gt;エミュー</li> </ul>
<p>‘On Your Mark Math Mentals 5’</p> 	<p>日本の3、4年生ぐらいを対象とした算数の教科書です。</p> <p>関連コンテンツ：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ダウンロードできるワークシート27、29ページ</li> <li>- ダウンロードできるワークシートの21、23ページ（算数の問題）</li> </ul> <p>オーストラリアには日本の教科書検定のような制度はなく、Australian Curriculum によって学年毎の達成基準が決められています</p>

	<p>す。各州、各学校はその基準に達するためのカリキュラムづくり、教材選定を行います。</p>
<p>'Possum Magic'</p> 	<p>オーストラリアの子供たちに最も親しまれている絵本の一つです。2023年は出版からちょうど40年を迎えました。</p> <p>著者メモ・フォックス氏のウェブサイトにて、読み聞かせ（英語）のオーディオファイルを再生できます  <a href="https://memfox.com/books/possum-magic/">https://memfox.com/books/possum-magic/</a></p>
<p>「-possum魔法」</p> 	<p>日本語版は絶版となっていますので、丁寧に取り扱いいただきますようお願いいたします。</p>
<p>'Who did that?'</p>	<p>大地に残されたふんと足跡を手がかりに動物を当て、その生態について学習できる本です。ふんの状態や足跡の大きさ、向きなどは、その昔アボリジナルの人たちにとって、動物の行動範囲を知るための重要な情報でした。</p> <p>日本語の解説が付属しています。</p> <p>関連コンテンツ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ダウンロードできるオーストラリアの写真と説明</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ダウンロードできるワークシートの7, 40, 41, 42 ページ</li> <li>- 動物パペット</li> </ul>
<p>#地理</p>	
<p>世界地図（太平洋中心）</p> 	<p>関連コンテンツ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ダウンロードできるワークシートの13 ページ</li> <li>- ウェブサイト「もっと知りたいオーストラリア」&gt;国土</li> </ul>
<p>オーストラリアの地図（道路と地形）</p> 	<p>関連コンテンツ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- フラッシュカード（オーストラリア）</li> <li>- ダウンロードできるワークシートの25 ページ</li> <li>- ウェブサイト「もっと知りたいオーストラリア」&gt;国土</li> </ul>
<p>オーストラリア先住民の地図</p>	<p>関連コンテンツ:</p>



<p>Indigenous Map of Australia</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>- フラッシュカード (先住民のシンボル)</li> <li>- フラッシュカード (トレス海峡諸島民の文化)</li> <li>- 本 “Desert Dreaming”</li> <li>- ブーメラン</li> <li>- アボリジナルの人々のアート (布)</li> </ul>
<p>#旗</p>	
<p>オーストラリア国旗・アボリジナルの旗・トレス海峡諸島民の旗の 3 本セット</p> 	<p>関連コンテンツ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ダウンロードできるワークシートの 19 ページ</li> <li>- ウェブサイト「もっとしりたいオーストラリア」&gt;基本情報</li> <li>- ウェブサイト「もっとしりたいオーストラリア」&gt;記事“オーストラリアに 3 種類の「旗」がある理由” <a href="https://tell-me-about-australia.jp/recommend/national-flag/">https://tell-me-about-australia.jp/recommend/national-flag/</a></li> </ul>
<p>オーストラリアの国旗、アボリジナルの旗</p>	<p>各 1 枚</p>
<p>#先住民文化</p>	
<p>フラッシュカード (先住民のシンボル) Flashcard on Aboriginal Symbols</p> 	<p>関連コンテンツ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ブーメラン</li> <li>- アボリジナルアート (布)</li> <li>- ダウンロードできるワークシートの 5 ページ</li> <li>- オーストラリア先住民の地図</li> <li>- ウェブサイト「もっとしりたいオーストラリア」&gt;社会</li> </ul>



<p>フラッシュカード（トレス海峡諸島民の文化） Flashcard on Torres Strait Islander culture</p>	<p>関連コンテンツ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- オーストラリアの地図</li> <li>- オーストラリア先住民の地図</li> <li>- ウェブサイト「もっと知りたいオーストラリア」&gt;社会</li> </ul>
<p>ブーメラン</p>	<p>教師の監督のもとで、生徒がブーメランに触れるようにしてください</p>
<p>アボリジナルアート</p>	<p>関連コンテンツ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- フラッシュカード（先住民のシンボル）</li> <li>- 本“Desert Dreaming”</li> <li>- ワークシート 5 ページ「先住民のアート」</li> </ul>